



R5 松川中学校 グランドデザイン



めざす教師像・授業像

- ①生徒が主人公となる授業の実践
- ②高い人権意識を持ちつつ3Mを大切に生徒に寄り添うことができる教師。
- ③社会や地域から信頼される教師。
- ④予測不能の時代に信念を持って教育に向かう教師。

町教育委員会「4つの重点」

- 重点1 自ら学ぶ子どもの育成
- 重点2 多様な学びの実現
- 重点3 子どもが主役～子どもと語り合う～
- 重点4 地域とつながる～町全体が学校～

保護者や地域の皆さん とつながりながら

- ①松中サポーターズ会議
- ②総合的な学習での連携
 - ・松川を知る(1 学年)
 - ・松川で出会う(2 学年)
 - ・松川に貢献する(3 学年)
- ③地域部活の準備運営
 - ・部活動指導員の配置
 - ・部活動外部コーチ委嘱
- ④ニコボラでの活動
- ⑤町文化クラブの活動

<学校教育目標>

自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒

めざす生徒像

- ①自らの考えに自信を持ち、発信できる生徒
- ②多様性を認め、尊重し合うことができる生徒
- ③ふるさと松川を愛する生徒



①に向けて

- ・松中スタンダード (小グループでのコミュニケーションによって理解を図り考えを練り上げる)
- ・ICT 機器の活用 (クラスに限らず、より多くの人々と協力しながら問題解決に向かい、さらに発信する)
- ・実習や実験、調査活動などの体験 (五感を働かせることで感性を磨き、発想力、構想力を伸ばしていく)

※学校評価1 自ら考え発信できる授業になっているか (そう思う・概ねそう思う) R4 57%

②に向けて

- ・3Mを合言葉に (お互いの良さを見つけ、認め、見とどける関係づくり)
- ・チーム学年 (道徳、総合的な学習を学年単位を基本とし、クラスの枠を超えた関係づくり)
- ・人権教育の充実 (研修、講演会、授業を通して人権感覚を磨くことによる日常の関係づくり)
- ・縦割りを取り入れた生徒会活動 (異年齢集団によって、学年を超えた関係づくり)

※学校評価2 学校での生活は楽しく充実しているか R4 74%

※学校評価3 学年、クラスが楽しく安心できる場所になっているか R4 73%

※学校評価4 生徒会活動は日常生活の向上をはかり学校生活の充実につながっているか R4 72%

③に向けて

- ・系統的な総合的な学習 (松川町やそこに住む人の生き方を中心に据えたカリキュラムの充実)
- ・SDGsへの取り組み (授業や生徒会活動に取り入れ、より良い地域や未来を築こうとする態度の育成)
- ・ニコボラや町文化クラブの推奨 (地域で活躍し貢献しようとする生徒の育成)

※学校評価5 地域の方と触れあいながら地域を大切に学習を進めているか R4 50%